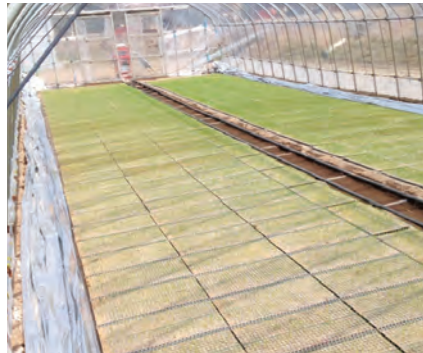


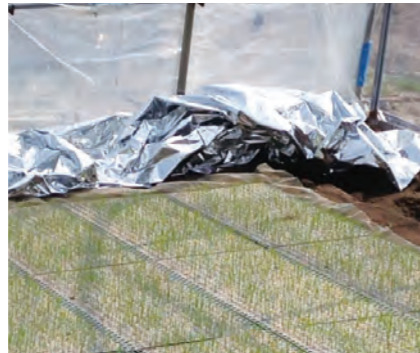
水稲育苗用被覆資材の効果確認試験

JAとまこまい広域

小泉農場



5月1日撮影



5月1日撮影

試験目的

水稲育苗用被覆資材の効果確認試験

**試験作物
及び品種**

水稲

**試験資材
及び数量(規格)**

本州太陽シート(3m×50m) 4本

慣行資材

シルバーポリトウ

栽培方法

播種日

4月20日

田植え

5月下旬

稲刈り

9月下旬

資材使用期間

4月20日～5月1日

試験区面積

4町

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

播種後に太陽シートをかけっぱなしで良いので苗管理が楽になる。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

発芽が若干遅いように感じたが問題なかった。被覆内の保水性が良かった。

ハウス内温度が47℃の時に、被覆内は25℃であった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】シートをかけっぱなしで苗が焼けることなく苗管理の手間が省ける。

【問題点】資材コストアップになる点。太陽シートの構造上、3m幅でも2枚継ぎになっており、巻き取って保管する際に真ん中が分厚くなることやシートの両サイドが内側に丸まってしまうので上手く巻き取れない。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

耐用年数がどれくらい持つのか気になる。フィルムの端が破れることもあったので端を補強してほしい。

(5)保温効果について

太陽シートは鏡のような銀色の表面により太陽光の入射を遮ることで高温化を防ぎ、夜間はアルミ層が床土からの放熱を抑えて保温することで換気の必要なく被覆内を出芽適温に保つ効果がある。

モニター感想

現代農業の記事を見て農協に問い合わせた。ハウス内温度が上がっても被覆したままで苗が焼けることがないため苗管理が楽になり、被覆資材を剥いたり掛けたりする手間も省略される。発芽が若干遅い気がした。

JA担当者の感想(生産資材課 齋課長補佐)

今年の天候では、問題なく使用することができた。小泉農場の他にもう1件試験をしたが、そこでも好評であった。ハウス換気をしなくて良かったとも聞いた。春先は、他作物もあり生産者は忙しいため農作業省力化資材への関心は高いと感じる。良い資材であると思うが価格が高いことと、1ロット3枚出荷という条件を改善してほしい。また、来年以降の育苗管理は気象条件が変わるので低温の春が来た場合にも保温効果が高いかどうかや耐用年数がどうかについても引き続き経過を見ていきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 クリンテート

4 機能的マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 省力化資材

8 その他